

2012年7月22日(日)

# 伊方原発上空飛ぶ危険 オスプレイ 普天間～岩国間で訓練 88年 間近に米ヘリ墜落

いいね! シェア 130 15 チェック G+ 2 ツイート

原子力発電と、墜落事故が相次ぐ米海兵隊の垂直離着陸機オスプレイ。悪夢のような組み合わせが、現実になる危険があります。24年前には、伊方原発上空を飛行していた米海兵隊ヘリが、同原発から800メートル先に墜落するという事故も起こっていました。(竹下岳)



(写真)伊方原発(愛媛県伊方町)。\*がCH53Dヘリの第1衝突点。その後、山頂を越えて反対側に飛び越えた

1988年6月25日午前10時10分。視界20メートルの濃霧に包まれた佐田岬半島の北側斜面に、普天間基地(沖縄県宜野湾市)所属のCH53Dヘリが激突しました。そこは伊方原発(愛媛県伊方町)のほぼ真上でした。現場を歩くと、その「近さ」に慄然(りつぜん)としました。

機体は強い衝撃で跳ね返り、山頂を越えて南側斜面を200メートルほどずりおちて大破。乗組員7人は全員死亡しました。

「機体が跳ね返らなかつたら、原発敷地内に落ちて大惨事になっていた」。現場に急行した日本共産党の中川悦良県議(当時)は、こう証言します。

海兵隊は非常線を張り、中川さんたちも中に入ることはできませんでした。「これが日米安保の壁か、と感じました」

この事故は過去の問題ではありません。佐田岬半島上空は沖縄と岩国基地(山口県岩国市)を結ぶ「ルート」になっており、88年の事故後も、普天間基地に所属する海兵隊ヘリの不時着や目撃情報が相次いでいます。(表、愛媛民報社まとめ)

米海兵隊はオスプレイを普天間に配備した後、岩国基地に2～3機からなる分遣隊を置き、10月以降にも毎月訓練を行う計画です。そうなれば、沖縄～岩国間の往復や訓練などで伊方原発近辺を飛行するのは確実です。

また、FA18戦闘攻撃機も九州方面から佐田岬半島を越えて岩国へ飛行する姿が何度か目撃されています。19日午前、曇天のため機影は確認できませんでしたが、記者も岩国方面へ抜けるジェット機の音を聞き

甲B第160号証の1

かんたん! ネットでお申し込み

購読 日刊/日曜版

見本紙 無料でお届け

参院選特集  
「赤旗」特別号外  
戦争法(安保法制)  
2014-16特報・論点  
「赤旗」10話  
「赤旗」の魅力

特集一覧

今週の 日曜版 最新号案内  
日曜版 月823円

日刊紙 紙面紹介  
日刊紙 月3,497円

社会 国際  
暮らし家庭 電話相談  
テレビ スポーツ  
たび・つり 地方  
読者の広場 科学  
囲碁将棋新人王戦 赤旗名人戦  
点字「赤旗」



- しんぶん赤旗ツイッター
- こちら赤旗日曜版ツイッター

「赤旗」記者募集のお知らせ

ました。

原発の増設も続きました。88年当時、伊方原発の原子炉は1、2号機だけでしたが、現在は3号機が立地。しかも同機はウランとプルトニウムを混ぜたMOX燃料を使用するプルサーマル運転を行ってきました。岩国基地に近い上関原発(山口県)の建設計画も依然、続いています。

「伊方等の原発をなくす愛媛県民連絡会」の和田宰代表幹事は、「原発は上空から目立つので、訓練の標的にされやすい。低高度でトラブルが発生したとき、安全に着陸できない欠陥機・オスプレイの配備は絶対に許されない」と訴えます。

### 伊方原発周辺の米軍機事故

- 79年12月 保内町(現・伊方町) 保内中学校庭にAH1Jヘリ(普天間)2機不時着
- 81年3月 保内町 保内中学校庭にAH1J(同)不時着。3日間駐機
- 84年4月 三崎町(現・伊方町) AH1J(同)が建設会社敷地に不時着
- 88年6月 CH53Dヘリ(同)が伊方原発至近に墜落。7人死亡
- 89年6月 野村町(現・西予市) FA18戦闘攻撃機(岩国)が野村ダムに墜落
- 00年4月 三崎町ムーンビーチ AH1Wヘリ(普天間)が不時着。僚機2機も着陸
- 08年7月 MC130特殊作戦機(嘉手納)が八幡浜市などで超低空飛行
- 12年3月 松山空港にCH53Eヘリ(普天間)4機が緊急着陸

#### 関連キーワード

- 安保・米軍基地
- 原発

しんぶん赤旗 (c)日本共産党中央委員会 ・ご利用にあたって

見本紙 無料でお届け

購読 日刊/日曜版

このページの上にもど



### 郭さん判明第1号

**遺留高知の兄と感激対面**  
東京・代々木の国産少年センターで続けられている中国残留日本人孤児の肉親捜しは三日目を迎えた二十五日、今回調査で初めて肉親と対面した女性孤児の郭喜喜さんが高知県須崎市大谷八七四の二、漁業田中富高さん(五七)の妹喜子さん(五三)と分り、身元判明の第一号となった。二人は二十一日午前、羽田発の全日空機で富高さん宅に帰る。

#### 検察審査会 申し立てへ

住民税滞り延滞を以て町長「町田」福岡県 福岡県京都市都田町の沖野治町長は二十五日、同町の住民税不正流

用事件に終業務上横領罪で告発した花房正蔵元町収入役(三)を福岡地検が不起訴処分としたことに対し、福岡検察審査会に審査申し立てすることを決めた。申し立ての時期については「福岡地検から処分内容が届き次第、弁護士と相談し決めたい」としている。

**挑戦者小林が先勝**  
— 碁聖戦 —  
加藤正夫碁聖(名人・王座)対 挑戦者・小林光一(碁聖の新開国碁連盟主催第十三期碁聖戦)五番勝負第一局は、二十五日午前九時から金沢市高岡町の「金沢ニークランドホテル」で打たれ、午後五時二十分、百七十九手まで黒番の小林が中押し勝ちを収め、幸先よい一勝を挙げた。持ち時間各三時間のうち残り時間は、加藤一時間六分、小林一時間三十分。

市「静岡ターミナルホテル」で行われ、森九段初の挑戦者 将棋「王位戦」第二十九期将棋「王位戦」挑戦者決定戦、森九段・九段日下卓五段の対局は二十四日午前十時から東京・将棋会館で行われ、二十五日午前零時五十分、百四十六手まで後手の森九段が勝ち、谷川浩司王位(名人・棋王)への挑戦権を獲得した。森が王位戦の挑戦者になったのは初めて。

谷川一森の七番勝負第一局は七月十二、十三の両日、三重県熊野町湯の山温泉の「寿亭」で指される。

**誤植に100万**  
誤植に100万(約1億5000万)のたつた1字だが、意味は大変な違いだ。筆者は20数年前の苦い出来事思い出した。当時「トンチ教室」という雑誌が流行し、新聞のラジオ欄で「ト」が「チ」になっていたのだ。担当部には「ク(BROTHER)旅行専門」

とき、受話器の前で赤面することがあった。  
「速報性を重視する新聞」誤植を含めたミスはつきり、なすと聞き直るつもりも、毛頭ない。読者に信頼され、新聞作りをするには、まじの追放をしなければならぬと、皆で一生懸命取り組んでいる。だが、思いがけない原因で時々、ミスが紙面躍り出ることがある。本誌、ゆいものである。(五)

## くすぶる散乱機体

# ミカン畑えぐる

二十五日午前、米軍ヘリが墜落した現場は、四電伊方原発炉心部からわずか南東へ一キロばかり離れた山中。米軍ヘリは瀬戸内海側から飛来、伊予灘側の尾根の真下に激突した。パウンドして尾根を飛び越え、立ち木をなぎ倒しながら宇和瀬側に向かって斜面を約二百メートル滑り落ち、炎上した。斜面には二百メートルにわたって機体の破片や乗員のヘルメットなどが散乱。ミカン畑の中には二、三四方の濃い緑色の

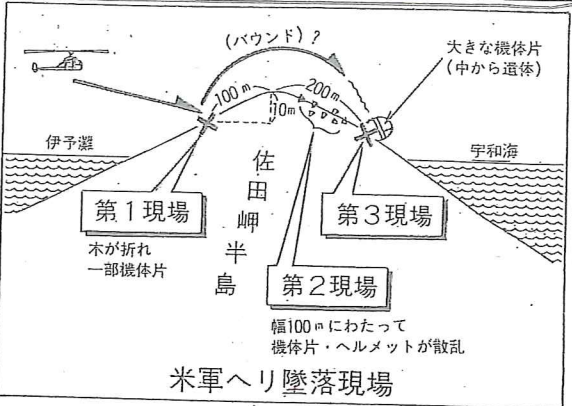
屋根が横たわり、焼けたたれた残骸がはらばらつても白い煙が立ち上る。周囲の木々も黒焦げ、機体の周辺三十メートルは乗員の遺体が相次いで発見された。

あわただしさとなった。警察の車や消防車がサイレンを鳴らしながら現場に急行したが、米軍ヘリとあって収容作業もはかばかしくない。午後四時過ぎ、ミカン畑をひかきながら米軍の救助用大型ヘリが飛来した。無い上がる土ほこりの中から海兵隊兵士十人ほどが、戦闘服に身を固め降り立った。腰には大型銃をさげ、まるで戦場でも臨む格好。遺体収容用のタンカや寝袋、水などを運び込んだ。県警の機動隊員もかけつけ、合同で

「原発に不安を感じた」と話すのは商業田村好太郎さん(五七)。事故を聞いて、まず危険だと思った。原子炉があるし、人家も近い。内部で安全性をいわれても、今回のように「外の要因」で事故がおきたら、不可抗力ということがある」と、不安を訴えた。また、消火活動に当たった消防団員は「機体は真っ黒に焼けたけれどミカン畑に、燃料タンクは山頂にあった。パラパラに破片が飛び散り、異臭がすごかった」と惨状を話していた。

# 衝撃 原子炉へ1キロ

## 住民こわばる



米軍ヘリ伊方墜落現場



墜落したヘリコプター CH-53の同型機

「万一、原発に落ちたら大惨事になっていく」。二十五日、米軍ヘリが墜落した西宇和郡伊方町九町の事故現場は四国電力伊方原子力発電所から、わずか一キロにすぎない。地元住民は驚きと不安を訴えた。また、裁判で航空機事故の危険性を主張していた原告地元住民は、恐れていたこと、指摘してきたことが現実になった」と怒り声をあげ、原発完全撤去に向けて運動を強めていく、としている。

の抗議行動を強めていきたくらいと、ロープで張られた現場に近づけないよう注意を要しながら話す。八西地区では「原発付近上空で多い時は一日に数十機も見かける。不安だまらなかつた。米國では、飛行場の近くの原発の格納施設の強度を通常の三倍にしているときが、日本ではそんな対策はとられていないはずだ」と話す。八西地区では五十四年と五十六年に同郡保内町の保内中クラウンドに、五十九年には同郡三崎町の空基地に米軍ヘリコプターが燃料切れや天候不順で不時着したことがある。西園寺さんは今回の事故が「十分予想されたことだ」と強調した。

ただ、原子力関連施設上空の飛行規制など運輸大臣が出す「飛行情報」は、米軍側も自己の安全を確保するため順守しているという。

## 炉心3重に包む

### 四電幹部、安全性を強調

を鉄で巻いたシールドがしゃべりの役目を果たしており、仮に飛行物が直撃しても炉心にまで届かないとしている。さらに、原子炉をストップさせる事態に至った場合、残熱処理に使われる給水管など非常炉心冷却装置の各機器を分散し、機能を独立させている。

一方、同発電所周辺は霧の名所。雨が降ると瀬戸内海側から濃霧が発生し、視界がほとんどなくなることも。同発電所では、上空から

伊方原発近くのミカン畑に散乱した米海兵隊の大型ヘリCH-53。伊方原発は上方右手の海岸にある。二十五日午後3時45分、西宇和郡伊方町九町で共同通信ヘリから

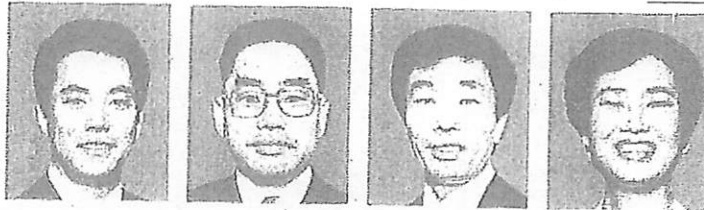


全金二千四百万円、猪股正二社長)のオーナーで元相談役の中瀬古功(五)二世田谷区上北沢四丁、利益約二十五億円の所得を隠したとされる事件で、東京地検特捜部は二十七日、東京国税...

区南 年間に東証、大証各二部上場  
同池 の繊維会社「カローナ」(富山  
井戸 県・井波町)や店頭登録の建

百の三

—27日午後3時14分



池田 謙司 近藤 義久 石田 篤 中瀬古芳江

今回の逮捕容疑となったのは五十九、六十年の二年分、十一億九千万円の所得隠しをし、八億三千万円を脱税した疑い。中瀬古はこの二年間に、販売代理店を含む明電工グループから二十四億円を調達、三十七億円を金融機関四社から借り入れ、計六十一億円を株に投資していた。

伊方原発近くで起きた米軍ヘリ墜落炎上事故と雨予地方を中心とした大雨被害に関連して伊賀知事は二十七日、県庁で緊急記者会見し、墜落事故は遺憾千万、必要があれば立法化を含めて国に要請したい」と同事故を重大に受

# 原発上空の飛行禁止

# 徹底順守を要請

## 伊賀知事 国・米軍岩国基地へ

伊方原発近くで起きた米軍ヘリ墜落炎上事故と雨予地方を中心とした大雨被害に関連して伊賀知事は二十七日、県庁で緊急記者会見し、墜落事故は遺憾千万、必要があれば立法化を含めて国に要請したい」と同事故を重大に受けとめていることを表明し、(4・5面に関連記事) 同知事は同事故を「全く予測し得ない事故だが、県民に大きな衝撃を与え、遺憾千万」とし、緊急措置として小川県保健環境部長らを通産、運輸科技庁、外務省をそれぞれ米軍岩国基地などに派遣、①原発上

空の飛行禁止の原発付近の飛行制限(低空飛行禁止) ③航空路の「海図」ともいうべき航空路誌に原発を避けて飛行することを明示し、すべての航空機に順守させるの三点を強く要請する文書を各大臣、長官、基地司令などに手渡させたことを明らかにした。さらに四国電力に対しては「伊方原発の航空事故対策について「回答を求めた」と述べた。

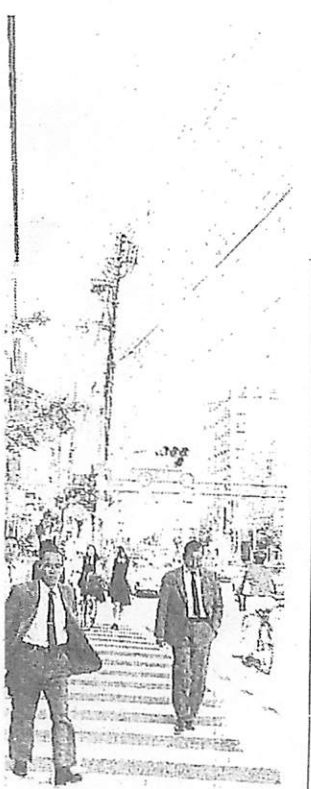
特に原発上空、原発付近の飛行制限については、航空法で民間機、自衛隊、米軍機の全航空機について原則的な順守事項になっているにもかかわらず、実際は「あいまいになっている」との見解を示し、まずこれらの事項の徹底順守を要請する」とも「必要があれば、この際立法化を含めて要請したい」との考えを明らかにした。

「セーフ・ド・ウーシステム」を主力商品とし、全国約四十の代理店を通じて「電気代が三十五割節約できる」のうた名口座約四百口を証券会社三十一社に分散開設し、非課税枠内の取引を装っていた。中瀬古は株の仕手戦で東京兜町の十数社の証券マンを動かして組織的な株目工作を仕組んでおり、大蔵省証券局

「大型贈収賄」に発展も 東京地検特捜部が強制捜査に乗り出した明電工事件は、誠備事件(五十六年)以来の株仕手戦絡みの大型脱税。特捜部はまず、巨額の金が動いたマネーゲームの実態を解明を進めるが、さらに国会での節電装置推奨賛同や脱税もみ消しをめぐって明電工元相談役中瀬古功(五)が展開した政官界工作にも真相解明のメスを入れる構えだ。展開次第では、大型贈収賄事件に発展する公算が大きい。特捜部にとって当面の課題は脱税容疑の固め。中瀬古の荒稼ぎの手法は、まず株価の安い業績不振の会社に狙いを付け、仕手戦グループ「省工

ノ五百本のほかに二十万枚のシートを作って、おみやげ用品に張っても「ハート作戦」を繰り広げている。ホテルの従業員やバス、タクシーの手を主体とした接客マナー講習会等から頻りに開いている。高知県「おみやげ」がある。お客さんに来ていただくという自覚、意識をもつて

## 高知



知のまごころ観光を呼びも現れた—高知市内

## 自治・大蔵決着

する補てん策が二十七日、梶山自治、宮沢大蔵両相の折衝で決まった。その内容は、地方の減収二兆九千二百億円(平年度べー億円、所得、法人、酒税の国税三税の減収に伴う地方交付税の減収が八千九百億円となっている。このうち、消費税導入に伴

京都国体出席は  
皇太子殿下(みぎわ)  
宮内庁の宮尾盛(いむらお)  
次長は二十七日午前、記者会見し「秋に京都で開催される国民体育大会を機に、開会式には皇太子殿下に出席したい」と述べた。皇太子殿下は「これに賛同する」と述べた。

としての第四十三回京都国体で、全国一巡を巡ることに、陛下の健康上の問題と高齢から今後は皇太子殿下にお願ひするにしたい。陛下は昨秋の沖縄国体開会式の際、手術のため欠席、皇太子殿下がご名代で出席された。皇太子殿下が出席することについて陛下は「これを機に

関係では、今治市別宮町、商業村上政栄(さしむね)と、松山市会津町、無職岡田佐男(さけお)の二人が入選した。同コンテストは「あつ、ヤッパ」がテーマ。村上さんの作品は「三継ぎ獅子(じし)」。岡さんは「秋祭りのみこし」。表彰式は二十九日、東京・永田町の自民党本部で。今回の応募は千四百三十四

伊方・ヘリ墜落

原発への不安一段と...

県内市民街宣し抗議文送る

西宇和郡伊方町の四国電力伊方発電所近くの山中に二十七日、八幡浜・西宇和地区では原発の危険性を訴える街宣活動が行われた。伊方、西条の市民団体は連名で四電社長などへ抗議文を送った。

伊方原発反対八西連絡協議会(広野房一会長)は二十七日、八幡浜・西宇和地区を街宣し、原発の危険性を訴えた。広野会長らメンバー七人が三台の車に分乗し同郡保内町をスタート。宇和海側の海岸線沿いに伊方町に入ったのをはじめ、佐田岬半島や八幡浜市内を回り「四電が、ただでさえ危険な原発に飛行機が激突しても大丈夫だというのは信じられない。スリーマイル島原発では、墜落事故防止のため原子炉格納容器の強度を伊方の二倍にしている」などと沿道住民に訴えかけた。



伊方原発第一ゲート前で抗議の声を上げる広野会長ら(左)

また、伊方町九町越の同発電所に立ち寄り、閉じられた第一ゲートに詰め寄ったメンバーらは「航空機が墜落しても影響はないと公言するなら、きちんと根拠を示せ」と怒りの声を上げ、原子炉の安全性を強調する四電側に抗議の意を示した。

一方、宇摩原子力発電を考える会(佐々木徹代表、川之江市金田町、三十二人)など宇摩地方、今治、西条の三市市民団体は連名で同日、伊方原発現場で予備調査



事故機の残骸の一部を運び入れるため待機する米兵ら

墜落現場で予備調査 県警と米軍

西宇和郡伊方町の四国電力発電所近くの山中に墜落、乗員七人が死亡した米軍ヘリコプターの日米合同調査が、二十七日午後三時ごろから現地で行われた。

五人がヘリで飛来、待ち受けていた県警本部の高橋刑事部参事官や名田八幡浜署長らと合流。まず瀬戸内海側の衝突現場と尾根を越した転落・炎上現場などを見て回った。現場はまた事故機の残骸が放

「終了式の目」が選ばれた。高賞金は五十万円(二百二十四本)で、最高賞金額は低いものの、当せん本数が多いのが特徴。

大橋で3割増収  
4-5月のJR四国  
【高松】JR四国は二十七日、四、五月の営業概況を発表した。瀬戸大橋開通、ゴードンウィーク、瀬戸大橋博覧会などのイベントが重なり、旅客収入、乗車券発売とも好調な伸びを示し、全体収入は前年同期比で三割増の約九十八億円だった。

旅客収入は九十六億円(対前年比三〇%増)。宇高連絡船の閉止、瀬戸大橋開通などのイベントで四、五月を四億円ほど上回った。

点を列挙し「佐田岬が米軍岩国基地の専管空域にあり、日常的に伊方原発上空を米軍機が飛び交う現状で、航空機対策を欠如している伊方原発の稼働、同原発増設工事は直ちにやめるよう」と要請している。

予定より大幅に遅れ、午後五時には予備調査を打ち切った。

この日は杉山県警本部長も午後二時ごろから現場に臨み、警戒中の県警本部員や機動隊員らと話を交わした。

米軍機の伊方原発上空飛行 知事へ禁止申入書

伊方原発近くで米軍ヘリが墜落した事故を重視した社会党県本部(田中恒利委員長)は二十七日、米軍機の伊方原発上空飛行禁止を求めた申入書を伊方知事あてに出した。

同党の成員、笹田西園蔵が中村県保健環境部次長に手渡したもので、申入書によると、今回の事故は県民に重大な衝撃を与えたとし、今後、国内法では原発等の上空は民間機、自衛機を問わず飛行を禁止しているが、米軍機は日米安保条約によって航空法の適用除外が認められているため、飛行可能となっている。仮にも、爆撃機等が原発に落ちれば計り知れない重大事態である。伊方原発上空が沖縄

「大阪」大阪府知事府中野犬にかみ殺された両親が「大阪府は野犬を放置して事故防止を怠った」として、府に約二千八百万円の損害賠償を求めた訴訟の判決が二十七日、大阪地裁で言い渡された。井筒宏成裁判長は「事故の責任を野犬の飼い主が負うべきだ」として、野犬の管理に責任を負うべきだと判断し、賠償額を約二千八百万円とした。

野犬にかみ殺された両親が「大阪府は野犬を放置して事故防止を怠った」として、府に約二千八百万円の損害賠償を求めた訴訟の判決が二十七日、大阪地裁で言い渡された。井筒宏成裁判長は「事故の責任を野犬の飼い主が負うべきだ」として、野犬の管理に責任を負うべきだと判断し、賠償額を約二千八百万円とした。

工電明

悠然と構える中瀬古

変わらぬ。サンクスの奥の両目が、思ひ詰めたように前を見据えていた。

最後に拘置所入りしたのが、中瀬古の妻で明電工副社長の芳江(よし)。薄暗い車内にひとりぼっちの芳江は、

甲子第160号第5

川原貴二(二)岡市、同会連組員(A)を窃盗容疑で逮捕した。

調べでは、吉本らは四月ごろ、伊予郡内の運送会社のトラックが松山市内で荷崩れを起こした際に、荷を積み直すのを手伝ったにもかかわらず、同社からあいさつに来な

# 本格調査始まる

## 伊方に墜落 米軍ヘリ

西宇和郡伊方町の山中に墜落、乗員七人が死亡した米軍ヘリコプターの現地調査は十八日、米軍と県警、八幡浜署合同で行われた。

午後零時四十分ごろ、米海兵隊普天間基地のモロニー中佐らがヘリで飛来、県警側と打ち合わせのあと、ヘリが衝突した伊予灘側の斜面と、尾根を越えて伝落、炎上した宇

和側の現場の二カ所を見て回った。

同日の調査は米軍約二十人、県警約五十人が当たり、どのような格好で衝突、炎上したか、またどの程度機体が

広瀬さんの目がうるんだ。

最近の判例に沿う

江藤孝熊本大教授(刑事法)の話。大洋デパート火災事件は被告の部長、課長、係長と死亡した社長、無頭常務を含めて企業組織の各段階の責任者が起訴され、一審が社長のノンマン体制を理由に無罪判決を言い渡した点で注目されていた。判決は企業組織の各段階における責任者に実質的な防火管理責任を認めたと、被告の一人については延焼防止など具体的な結果回避措置の義務を認め、最近の判例の傾向にも沿う。

ただ、この判決は社長のノンマン体制のもとで会社幹部の過失責任を認めたもので、企業組織体責任論という形で一般化するのには妥当でないと、この点で取締役というだけでは会社幹部の責任が広く問える

とするのは問題が残る。消防の現場で防火管理研究をしている森本宏神戸市警合消防署長の話。最近の判決の流れからみて当然の判決。消防の実務の立場からいうと、現在の防火管理制度の考えを評価した判決と受け止めていい。ただ今回は一審と違って一消防法令とは別に、信義則上との表現で一般的な立場から被告に安全配慮の注意義務があったという考え方をもち込んでいる。このような形で管理責任を認めた判決は極めて異例だ。

また一審判決では、デパートの業務上の責任と防火上の責任を分け、検察もこれを表裏一体と指摘して消防法上の責任にも言及していたが、今回の判決ではこれに答えていない。しかし、一審判決が現場からかけ離れた感があったのには比べると評価できる。



到着したヘリから資材などを運び出す米兵ら

散乱しているかを主に調べた。機体の搬出などはなく調査は午後四時四十五分ごろ終了したが、調査の期間は今週末か来週初めごろまでかかる予定。

この日は午前十時過ぎ、現場に常駐していた兵士らの交代要員を連れてヘリコプター二機が飛来、午後零時四十分ごろ、再び二機が訪れ、モロニー中佐らが降り立ったほか、MPの腕章を着けた兵士らがスケールなどの測量機器や寝袋、食料を手次々に現場入りした。また、二時過ぎにも三たび二機が飛来、ローターの風圧を避けながら迷彩服の兵士らが黙々と現場に向かう姿は、戦争映画のシーンを思わせた。

なお、墜落ヘリの死亡した乗員は米軍岩間基地からの連絡によると次の通り。

海兵大尉・操縦士マイケル・E・バーメル(二)海兵中尉・補助操縦士パトリック・C・フレミング(二)海兵二等軍曹・搭乗員長ステファン・R・ヨルダー(三)海兵三等軍曹・搭乗員エリック・C・マウ(二)同ドナルド・R・マケイ(二)同ジョエル・A・ワトキンス(二)海兵伍長・同ジョーイソン・W・チェイス(二)

# 無罪

## 厳しく批判

静岡地裁判決

疑いをいれないまでの立証がなされておらず、犯罪の証明がない」と検察側の不十分な捜査を批判し、全員の無罪(求刑禁固二年六月一年六月)を言い渡した。

判決はまず、「下水道工事の埋め戻しの不十分とガス管に亀裂が入ったことの原因

係は常識的には肯定できる」とした上で、刑事裁判では、ガス管の金属的特性、破壊強度などを確定し亀裂の原因を科学的に説明できなければ罪責も問えない」と指摘。

これらについて検察側、被告・弁護側が提出した鑑定は、一般的には承認されていない学説に基づいたり、事実認定に難点があるなどしており、いずれもそのままでは採用できないとした。

これを踏まえ、判決は「原因について科学的経験則に即して科学的説明が困難で犯

罪の証明にならない」と述べ、その他の争点だった被告の注意義務や予見可能性の存否について全く触れないまま無罪とした。

尾崎裁判長は「事故直後、各分野の専門家を動員し、綿密な捜査をしていけば、よかつたのに不十分だった。起訴は科学的調査を軽視、なかりにしていた」と検察側の十分な捜査を厳しく批判した。

事故は五十四年五月十九日深夜、JR藤枝駅前の県道下

じ、漏れたガスによる一酸化炭素中毒で十人が死亡、三十人が重傷になった。

五十五年五月に始まった公判では、埋め戻しの状況の亀裂の入った原因の注意義務、予見可能性の存否、が争点となった。六十四回の公判で三被告はそれぞれ鑑定書を提出するなどして無罪を主張していた。

藤枝市、東海ガスは被害者側と総額約億一千万円で和解が成立しており、この分相を岡田工務店に求める訴訟を静岡地裁で争っている。

# 再

をはじめカリナリなどに次々と標的を奪えながら仕事戦を展開して巨利を得た。

ヤミ献金はこうした明電工の派手な動きと時期がほぼ重

脱税容疑で東京地検特捜部に逮捕された明電工のオーナー、中瀬古功(六十一)が六十七年のダブル選挙直前、当時サラリーマン新党副代表(現在、無所属)だった木本平八

自宅の納屋に放火

二十八日午前三時五十分ごろ、新居浜市内、無職A子(五)が新居浜市、木造平屋建方納屋から出火、木造平屋建

故で、問題の砲弾は陸上自衛隊が大砲の射撃訓練に使っている「訓練専用弾」だったことが、事故を捜査している北海道警の依頼を受けた同自衛隊による二十八日までの鑑定で明らかになった。

